

令和元年度 東京都高等学校新人卓球大会要項(訂正版)

主催:東京都高等学校体育連盟
 主管:東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部

標記の大会を下記要項にて開催します。希望校は参加費を指定の用紙で振込の上お申し込みください。

記

1. 期日・種目・会場

10月	12日(土)	シングルス	13:00～	エスフォルタ八王子(サブ)
	13日(日)	シングルス	9:00～	白鷗高校
	14日(祝)	シングルス	9:00～	明大明治高校・安田学園高校
	19日(土)	シングルス	13:00～	エスフォルタ八王子(サブ)・上板橋体育館
	20日(日)	シングルス決勝	9:00～	白鷗高校
	27日(日)	シングルス決勝	9:00～	白鷗高校
11月	2日(土)	ダブルス	13:00～	多摩工業高校
	3日(日)	ダブルス	9:00～	多摩工業高校・明大明治高校
	4日(祝)	ダブルス決勝	9:00～	明大明治高校
	9日(土)	学校対抗	13:00～	多摩工業高校
	10日(日)	学校対抗	9:00～	多摩工業高校・白鷗高校
	17日(日)	学校対抗決勝	9:00～	多摩工業高校

2. 競技種目・参加数

- (1) 学校対抗 各校1チーム
- (2) ダブルス 制限なし
- (3) シングルス 制限なし

3. 代表数

- ① 関東高校新人卓球大会第Ⅰ部(令和元年12月25日～27日/東京都) 学校対抗3校(1～3位)
- ② 関東高校新人卓球大会第Ⅱ部(令和元年12月25日～27日/東京都) 学校対抗2校(4・5位)
- ③ 全国高校選抜卓球大会(令和2年3月25日～28日/千葉県千葉市) シングルス 1名

※ 東京都・神奈川県強化練習会については後日連絡

4. 競技規定 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。

- (1) 選手は、(公財)日本卓球協会発行の令和元年度ゼッケンを背中につけること。
- (2) 日本卓球ルールで、特に留意すること。
 - ア. ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
 - イ. 競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとする。
 - ウ. ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとする。
 - エ. 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。

5. 競技方法

- (1) 全種目全試合11本5ゲームスマッチとする。
- (2) 学校対抗は、次の方法で行う。
 - ア. 出場選手は4～7名とする。ただし、試合日が異なる場合には異なる7名で出場することができる。
 - イ. 試合形式は4～6名でオーダーを組むことができる4シングルス1ダブルスで行う。試合順序は1番シングルス・2番シングルス・3番ダブルス・4番シングルス・5番シングルスを原則とする。
 - ウ. 外国籍選手は1試合につき1名が、シングルス・ダブルスを問わずに1回のみ出場できる。
 - エ. ダブルスに出場する選手はシングルスにも重複出場できるが、シングルの1・2番に出場した選手同士でダブルスを組むことはできない。また、シングルスは4人とも異なる選手が出場しなければならない。
 - オ. 進行状況によってはシングルス4試合を先に行うこともあり得るが、この場合でもオーダーの組み方は上記「エ」の規定に従う。
 - カ. 勝敗は3試合先取で決する。
 - キ. ベスト4決定まではトーナメント方式で行い、その後、1～4位リーグ戦と5～8位リーグ戦を行う。
 - ク. ベスト4決定戦以降はタイムアウト制を適用する。
- (3) シングルス・ダブルスは、次の方法で行う。
 - ア. すべてトーナメント方式で行う。
 - イ. ベスト8決定戦以降はタイムアウト制を適用する。
 - ウ. 以下の条件に該当する選手の中からシングルス最上位の者1名を、全国高等学校選抜卓球大会のシングルス代表とする。必要に応じて代表決定戦を行う。
 - ① 本大会学校対抗上位3校以外の学校に在籍する選手。
 - ② 過去に以下の大会の代表(選手登録)経験がない選手。
 - ・全国高等学校総合体育大会(学校対抗・ダブルス・シングルス)
 - ・全国高等学校選抜卓球大会(学校対抗・シングルス)
 - ・全日本選手権(一般・ジュニア・ダブルス)
 - エ. シングルス最上位の者を全国高校選抜新人合宿(令和元年12月実施、日程・会場未定)に推薦する。(外国人留学生を除く)

6. 試合球及び使用卓球台

- (1) 試合球は(公財)日本卓球協会公認の40mm+プラスチック白球とする。
- (2) 使用卓球台は(公財)日本卓球協会公認台とする。

7. 参加資格

- (1) 令和元年度東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部加盟登録済みの学校に在籍する、令和元年度(財)日本卓球協会登録済みの選手。
- (2) 年齢は、平成13年4月2日以降に出生した者とするが、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。ただし、事前に学校単位で東京都高等学校体育連盟事務局に申請し許可を得ること。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 外国籍選手の出場については、全国高体連卓球専門部の規定による。
- (6) 上記(1)～(5)の要件を満たした上で、在学する学校長の許可を必要とする。

8. 参加申込

(1) 申込方法

所定の申込用紙に必要事項を記入し、学校長許可印を押印の上で提出するとともに、参加料を別途要領(9.参照)で振り込むこと。

(2) 申込用紙提出先

令和元年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)予選の各会場

【最終締切】 9月22日(日) 9:00～10:00 白鷗高校

※ **どうしても提出日までに持参できない学校に限って、例外的に申込書郵送を受け付けます。**

9月19日(木)必着で事務局まで郵送してください。

郵送申込先(事務局)

**〒111-0041 台東区元浅草1-6-22 (都立白鷗高校内)
東京高体連男子卓球専門部事務局 若井 清孝 宛**

9. 参加料 9月22日までに所定の振り込み用紙で振り込むこと。現金は受け付けない。

学校対抗	1チーム	2,000円
ダブルス	1組	700円
シングルス	1人	400円
振込先口座	ゆうちょ銀行 00180-2-155080	

※ 領収証の必要な学校には試合会場にて作成し発行する。ただし、振込確認ができていない領収証は発行しない。(振り込み確認には4～5日ほど必要)

男子卓球専門部事務局への連絡・問い合わせはメールで行うこと。

事務局 E-mail: koutairen_pinpon@tkdts.info